

百間川の水質改善に向けた取り組み

岡山理科大学附属高等学校 科学部

百間川について

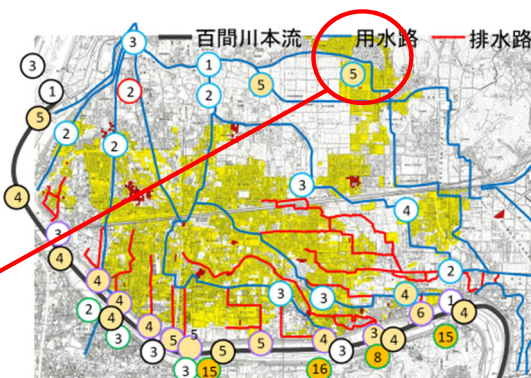
百間川は川幅が180 m(百間)あり、旭川本流が増水した時でも氾濫しないように水を逃がすための放水路で、江戸時代に津田永忠により整備された。分流部にはホタル池、せせらぎ広場といった、川に親しめる空間がある。一方で、市街地付近では周辺地域から排水が流れ込み、**水質の悪化**につながっている。そのため、旭川本流から毎秒1 tの**浄化用水**を導入している。



2020年の調査

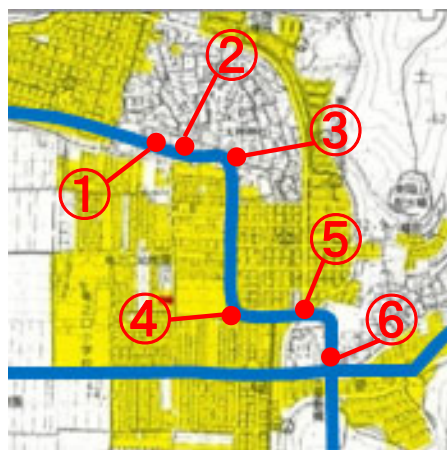
COD [mg/L]

- 百間川本流
- 左岸排水樋門
- 右岸排水樋門
- 用水路
- 排水路



黄・赤が下水道が整備されている地域

2022年の取り組み(四御神の地域の水質調査)



① 四御神に入る前の山手川には、綺麗な水が流れている。



② 川に水が流れ込んでいる場所がいくつかあった。



③ 流れは比較的早く、川底は砂が多く魚も泳いでいた。



④ 茶色の泡が見られた。



⑤ だんだん流れがゆるやかになり、水がにごってきた。



⑥ サイフンの前でゴミがたまっていた。茶色の泡もたくさん浮いていた。

この後、パックテストで各地点のCOD、pH、NO2-Nの検査をしました。